

## 第2部 「目標とする姿」への取組み状況

### ■取組み状況について

「目標とする姿」一つひとつについて、2018年度を含む「主な指標の変化」(2007年度～)と2018年度の特徴的なトピックを掲載し、現時点での取組み状況の評価を行っています。

## ■目標とする姿（第3章）

- |  |         |
|--|---------|
| ① 手入れの行き届いた豊かな森が、きれいな空気や水を育んでいます                 | ・・・p.7  |
| ② 里山が様々に利用され、関わる人が増えています                         | ・・・p.10 |
| ③ 使われていない農地の利用が進み、生き物の豊かな田んぼが増えています              | ・・・p.13 |
| ④ あちこちの川や海辺で、子どもたちの楽しむ声がきこえてきます                  | ・・・p.17 |
| ⑤ コウノトリも住める豊かな生態系が、バランス良く保たれています                 | ・・・p.20 |
| ⑥ 様々な世代の人々が、地域の祭りや行事を楽しみ、未来へとつなげています             | ・・・p.22 |
| ⑦ 子どもたちが、身近な地域の自然についてよく知り、大切にしています               | ・・・p.28 |
| ⑧ 市民みんなが、ごみの減量化を実践し、<br>1人あたりの排出量が徐々に減っています      | ・・・p.31 |
| ⑨ 市民みんなが、楽しみながら省エネ行動を実践し、<br>再生可能エネルギーの利用も増えています | ・・・p.34 |
| ⑩ 環境を良くすることで経済が活性化され、交流も広がっています                  | ・・・p.38 |

## ■取組みの方向

- 1 森林を利用し、保全します
- 2 川や海などの水辺環境を保全します
- 3 様々な生きものが育む豊かな農地を保全します
- 4 農林水産業の新たな担い手を育成します
- 5 生きものがバランス良く生息する自然環境を保全します
- 6 公害や災害を防ぎ住みよい環境を守ります
- 7 地域の文化や景観を保全し、活用します
- 8 地域コミュニティ組織を中心に、地域力を高めます
- 9 環境意識を高める学習・教育を進めます
- 10 環境に関する知を集積し、活かします
- 11 ごみの減量・再資源化を進めます
- 12 省エネルギーに努め、再生可能エネルギーの利用を増やし、地球温暖化防止に努めます
- 13 地産地消を進めます
- 14 環境と経済の共鳴を進めます

# 目標像①

## 手入れの行き届いた豊かな森が、きれいな空気や水を育んでいます

### 【主な取組みの方向】

(1) (4) (5) (6) (9)

### 【具体イメージ】

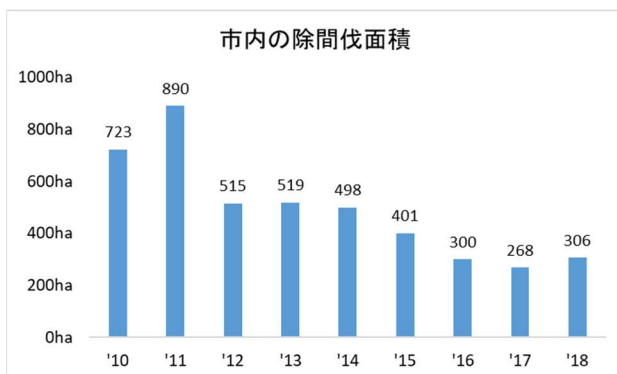
スギやヒノキの林は保育され、広葉樹も植えられています／木材の利用が増えています／ペレットストーブなどの利用が家庭や事業所に広がっています

## 1 主な指標の変化(2007～2018年度)

### (1) 除間伐と植樹



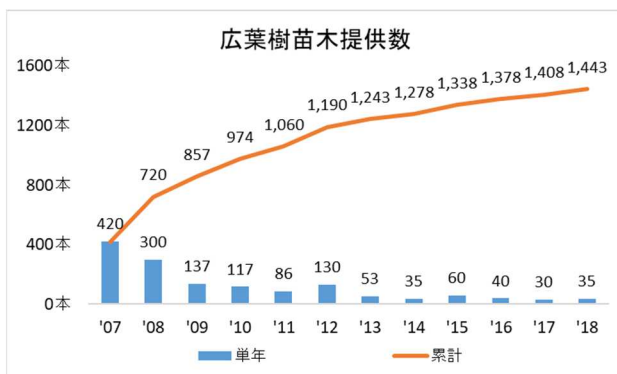
・豊かな森林を育てるため、太陽の光が木の根元や地面まで十分に届く環境をつくる「除間伐」を行っています。



・市・公社・民間等の分収造林全てを含みます。

### 【分収造林】

土地所有者と分収契約を結び、民有林野に対して造林を行い、その収益を土地所有者と分収するもの



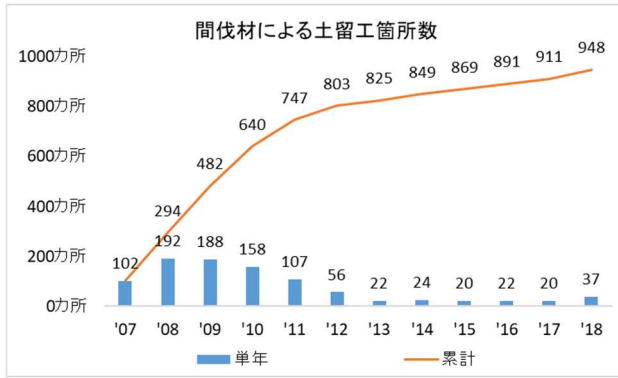
・針広混交林化に向けて、広葉樹の植樹を進めています。落葉等で土壌が肥沃になるとともに、下層植生の成長を促し、土壌浸食等の防災効果が高まることが期待されます。

《所有別森林面積》 (2016年3月31日現在)

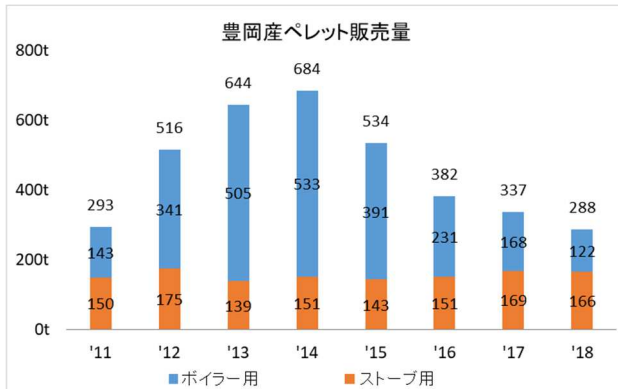
区分	面積	割合
公有林	3,501ha	6.42%
私有林	51,036ha	93.58%
合計	54,537ha	100.00%

資料：兵庫県森林GISシステム

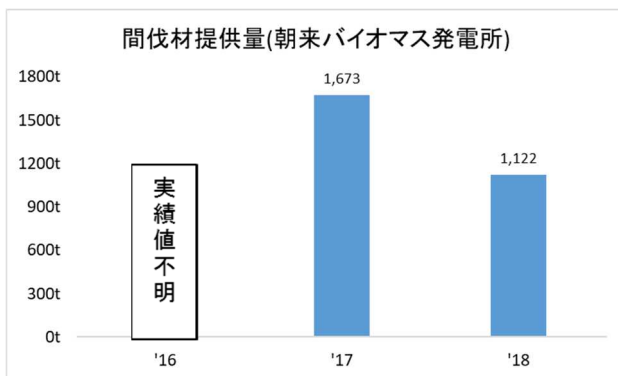
## (2) 間伐材の利用



- ・間伐材をそのまま地滑り防止に活用する「土留工」を行っています。

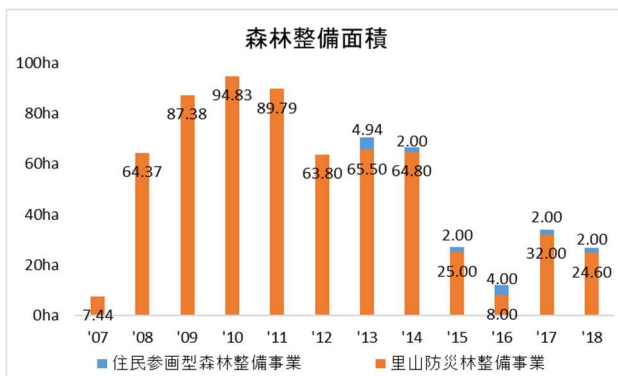


- ・間伐材を搬出して、ペレットを製造・販売しています。自然エネルギーとしての利活用を進めています。
- ・バイオマス発電所の始動で、間伐材利用の軸がペレット製造から発電所での利用に変わりつつあります。
- ・2019年3月議会で、間伐未利用材等の利用方法をペレット原料から朝来バイオマス発電所への供給に切り替えることが発表されました。



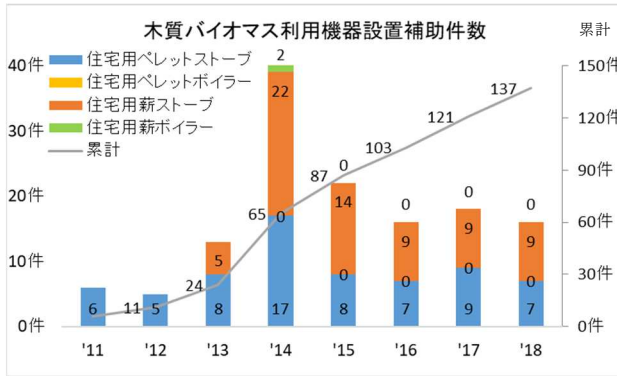
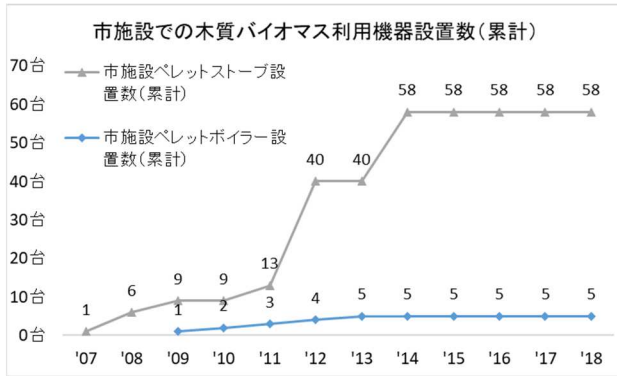
- ・2016年12月、朝来市生野町のバイオマス発電所が運転を開始し、北但東部森林組合から搬出された原木やチップが、朝来市の「バイオマスエネルギー材供給センター」を通じて、朝来バイオマス発電所に供給されています。

## (3) 森林の整備



- ・住民参画型森林整備事業は、竹林・枯れ松・危険木伐採等により、集落の安全を確保する1カ年事業です(事業主体：兵庫県)。
- ・里山防災林整備事業は、人家裏山の凹型斜面の崩壊を防ぐため、危険木伐採や簡易防災施設(丸太柵工等)整備を行います。2カ年事業で、1年目に調査、2年目に整備します(事業主体：兵庫県)。

#### (4) 木質バイオマス機器の利用



・木質バイオマス(薪、木質ペレット)を燃料に利用するストーブ・ボイラーの利用促進を進めています。「住宅用」には事業所も含まれます。

### 間伐材を活用した鋼製漁礁

## Topics

国庫補助事業を活用して間伐材を活用した人工漁礁を竹野沖に設置しました。

竹野沖の人工漁礁は、海中に沈められた人工物で、魚類のすみかになります。漁礁に市行造林の間伐材を使うことで、魚類の餌になるフナクイムシなどが発生し、短期的に多くの魚類を集める効果があります。市内の森林から間伐材を搬出しており、山と海の保全を同時に進めています。



#### 2 2018 年度評価

##### 評価

- 住宅への木質バイオマス利用機器の設置が広がりつつある。
- ▲間伐材を利用したペレットの販売量が伸び悩んでいる。
- ▲バイオマス発電所への間伐材提供が減少している。

もっと  
がんばろう

## 目標像②

# 里山が様々な利用され、関わる人が増えています

### 【主な取組みの方向】

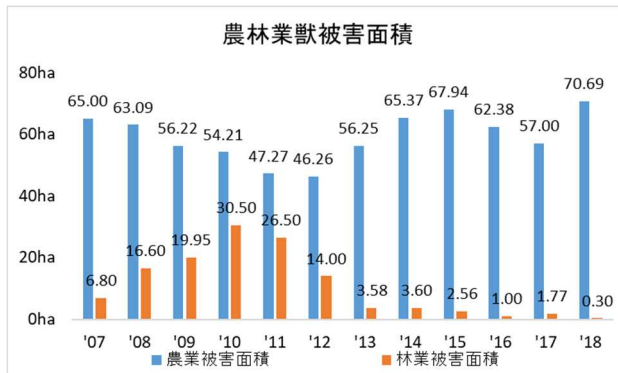
(1) (3) (4) (5) (9)  
(13)

### 【具体イメージ】

安心して散策を楽しめる里山が増えています／食用の山菜やキノコの知識をもった市民が増えています／森林ツーリズムなどを楽しむために森に入る人が増えています／イノシシやシカは適切に駆除され、肉や皮も多様に活用されています

## 1 主な指標の変化(2007～2018年度)

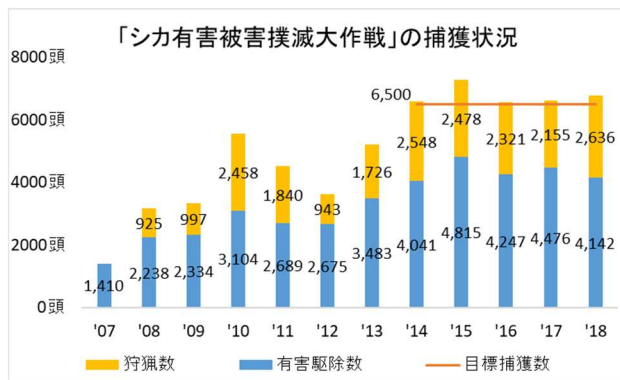
### (1) 有害鳥獣対策



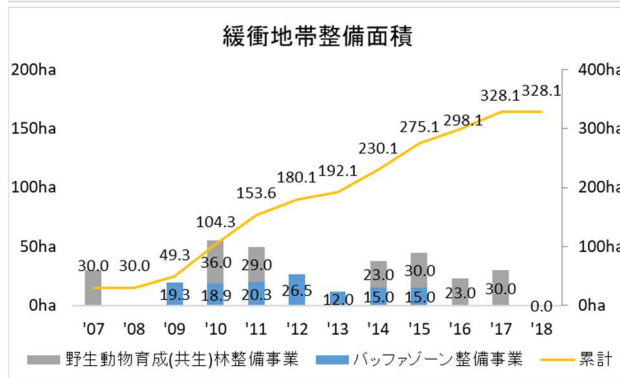
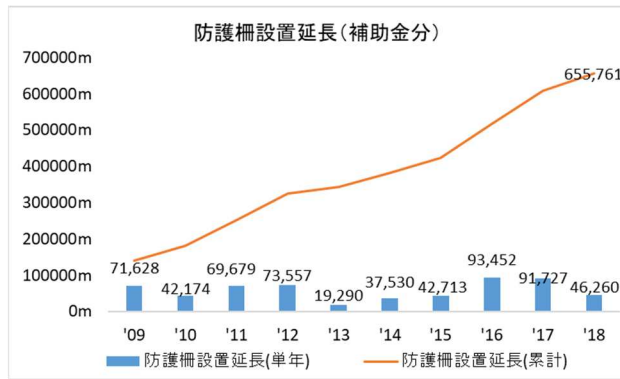
- ・林業被害のほとんどはシカによるものです。
- ・農業被害は、シカやイノシシの他にサルなどの小動物によるものもあります。
- ・山奥から人里近くに被害が広がってきています。



- ・「有害獣駆除数」グラフは、有害鳥獣駆除のみの数値で、11月から3月までの狩猟期に個人が捕獲したものは含まれていません。
- ・「その他有害駆除数」には、タヌキやアライグマ、ヌートリア、カワウなどが含まれます。



- ・市では、2014年から年間捕獲数6,500頭を目標に、「シカ有害被害撲滅大作戦」を実施しています。
- ・「狩猟数」は、狩猟期(11月～3月)に個人が捕獲した頭数。
- ・「有害駆除数」は、一般、専任班、捕獲実施隊(市鳥獣害対策員と市担当者で編成)が、有害獣として捕獲・駆除した頭数。



- ・このグラフの緩衝地帯(バッファゾーン)は、野生動物との住み分けを図るため設けられる、幅約20m程度の見通しの良い地帯を言います。
- ・バッファゾーン整備事業は2009～2015年度まで実施(実施主体：豊岡市)。
- ・野生動物育成(共生)林整備事業は、緩衝地帯と集落防護柵を一体整備する2カ年事業で、1年目に調査、2年目に整備します(事業主体：兵庫県)。
- ・2018年度は調査のため実績値がありません。

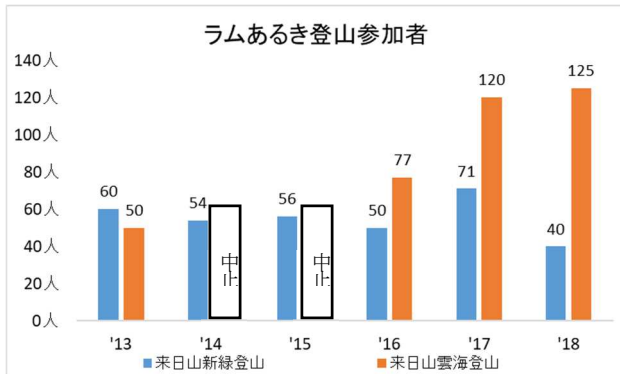
## (2) 森林公園の利用



- ・竹野南森林公園では、年7回、季節に合わせた体験教室を実施しています。



### (3) 森林ツーリズム



- ・2012年に「円山川下流域・周辺水田」がラムサール条約に登録され、翌年から来日山の山頂からラムサール条約湿地を眺めるイベントを、5月と10月に実施しています。
- ・2018年、ラムサール条約湿地が拡張されました。(詳細は p. 21 に記載)

# Topics

## 神鍋溶岩流ウォーキング

ユネスコ世界ジオパークに認定されている「山陰海岸ジオパーク」。そのほぼ中心に位置する神鍋高原・神鍋火山では、毎年4月に、神鍋溶岩流の景観美を楽しむイベント「神鍋溶岩流ウォーキング」が開催されています。2018年度は、275人が参加しました。

神鍋溶岩流は約2万2千年前の神鍋山の噴火活動で流出した溶岩が固まり、長い年月をかけて浸食され、現在の稲葉川の美しい景観を形成しました。

ルンルン溶岩流コース(5km)と健脚満足コース(11km)の二つあり、人工的に作り出せない美しい景色や歴史などを自分にあったペースで楽しめます。



## 2 2018年度評価

### 評価

- ラムあるきが登山イベントとして浸透している。
- シカ有害被害撲滅大作戦の年間捕獲目標数 6,500 頭を達成している。
- ▲有害獣の駆除や防護柵の設置、緩衝地帯の整備は進んでいるが、農林業被害額は増加している。

この調子で  
がんばろう



# 目標像③

## 使われていない農地の利用が進み、生きものの豊かな田んぼが増えています

### 【主な取組みの方向】

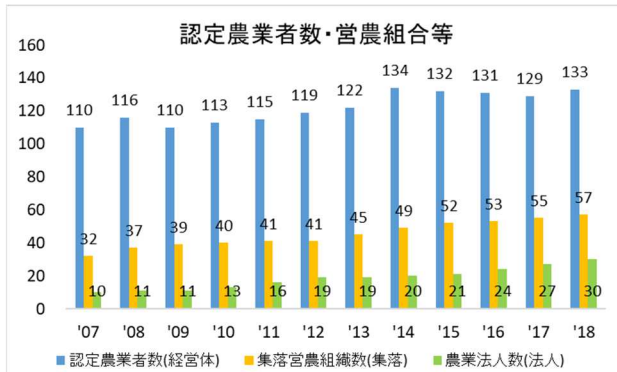
(3) (4) (5) (9) (10)  
(13)

### 【具体イメージ】

農薬や化学肥料に頼らない農業が広がっています／就農する若い人が増えています／学校や家庭の食卓に豊岡でとれた安全安心な食材が並んでいます／多様な生きものと触れ合う子どもの姿をよく見かけます／ビオトープ水田など様々な使われ方で農地が活かされています

## 1 主な指標の変化(2007～2018年度)

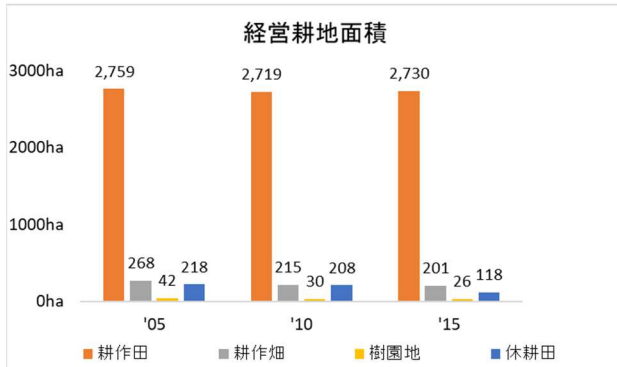
### (1) 豊岡の農業の現状



・就農者の高齢化・減少が進む中で大規模集約化の方向にあります。

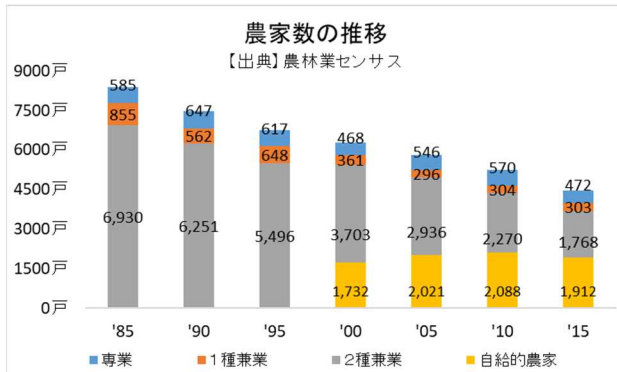
### 【認定農業者】

農業経営改善計画を市町村に提出し、認定を受けた農業経営者・農業生産法人



### 【経営耕地面積】

農家が経営する耕地の面積



・2000年以降の専業・兼業農家は「販売農家」に限られ、自給的農家の専兼業別調査が簡素化されました。

### 【第1種兼業農家】

農業所得を主とする兼業農家

### 【第2種兼業農家】

農業所得を従とする兼業農家

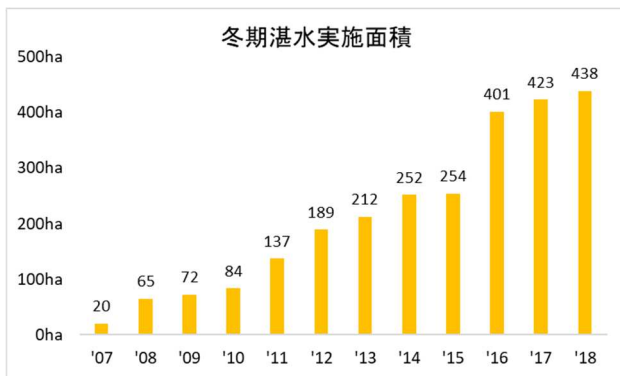
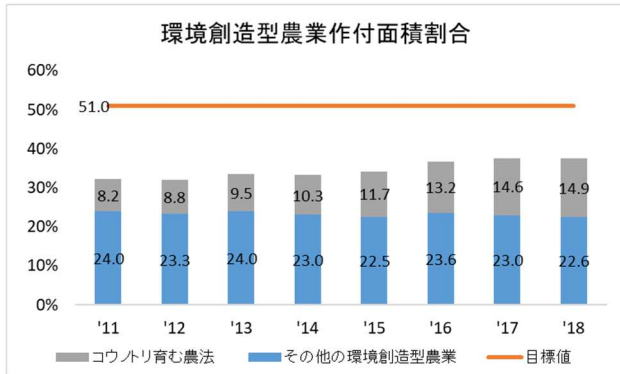
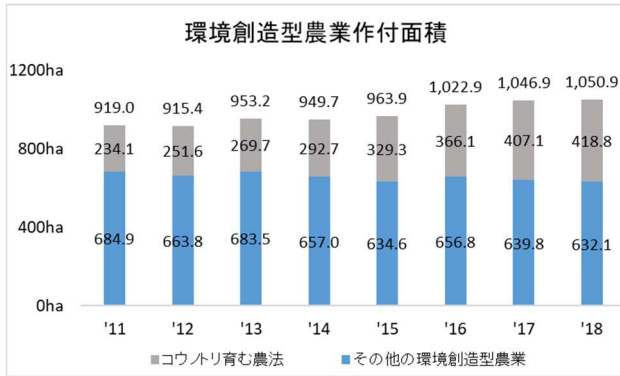
### 【販売農家】

経営耕地面積が30a以上または農産物販売金額が50万円以上の農家

### 【自給的農家】

経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家

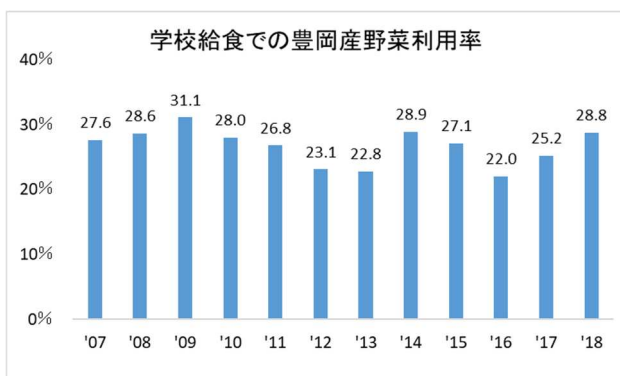
## (2) 環境にやさしい農業



・「コウノトリ育む農法」をシンボルに、新たな栽培方策を導入するなどして、「豊岡型環境創造型農業」〔農薬・化学肥料50%以上減(慣行農法比)〕の普及拡大を図っています。

・冬期湛水は、冬にも田んぼに水を張ることです。生きものが豊かになり肥料分を含むトロトロ層(2~5cm)ができることで雑草の種子が発芽しにくく、抑草効果もあります。

## (3) 学校給食への利用

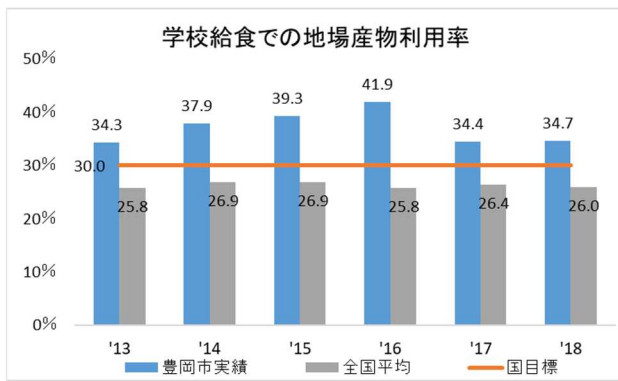


・豊岡産野菜は、「国民健康・栄養調査(厚生労働省)」の野菜の定義に則っています。いも類、果実類、きのこ類は含まれません。

・利用率は重量で計算しています。

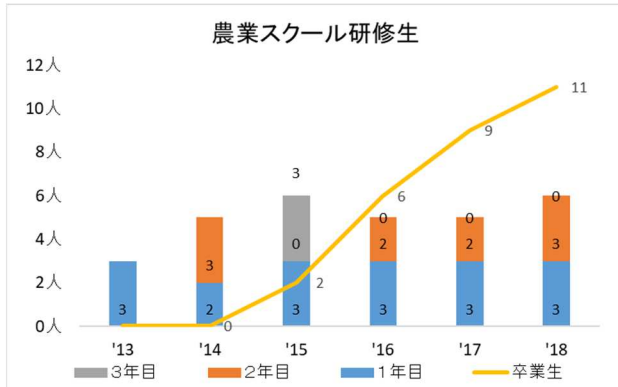
・地元生産者がピーマンなどを寄付する、児童たちが自分たちで作った野菜を調理して食べるなどの取組みも行われています。

・2016年度から、週5回全ての米飯給食でコウノトリ育むお米(減農薬)を利用しています。



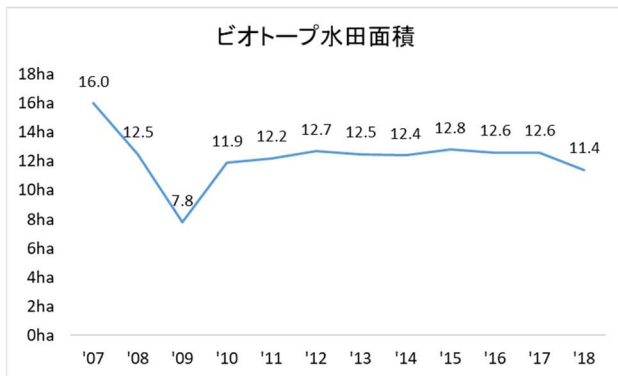
- ・農林水産省の「第3次食育推進基本計画」で学校給食における地場産物を使用する割合30%以上を目標にしています。
- ・地場産物は県内産食材を指します。
- ・利用率は品目数で計算しています。
- ・この調査は、6月・11月のそれぞれ5日間を対象に行われています。

#### (4) 農業スクール研修生



- ・新規就農希望者が、就農に必要な農業生産技術と経営管理能力の習得を目指し、1年間(更新で最長3年間)学びます。
- ・卒業生は、雇用就農、独立自営就農とそれぞれ市内で就農しています。

#### (5) 休耕田の利活用



- ・多様な生きものを育む「ビオトープ(生きものがすむ場所)水田」としての管理委託を行っています。
- ・ビオトープ水田から田んぼに復田することもあります。
- ・小学校区ごとの面積は、目標像⑦(p. 30)に掲載しています。

## コウノトリ育む農法に取り組む 生産者の声 成田市雄さん

日本の米作りは、3000年ほど前にはじまりましたが、80年くらい前から農薬や化学肥料を使い始め、今では使うことが普通になりました。裏を返せば、昔は無農薬で米を作っていたんだから、農薬を使わなくても米作りはできるはずですよ。

私は、2002年に始まった実証試験栽培からコウノトリ育む農法の米作りに取り組みました。無農薬で米作りをしてみても、除草剤を入れると稲が弱って化学肥料が必要になることや田んぼの雑草はトラクターで浅くかき回せばそのまま枯れることなどが分かりました。

コウノトリ育む農法のお米は、コウノトリ野生復帰の取組みに共感し、応援してくれる人が高く買ってくれるので儲かります。なにより自分の子どもや孫にコウノトリ育む農法で作った安全安心なお米を食べて健康でいてほしいので、頑張って無農薬で米作りをしています。



## 2 2018年度評価

### 評価

- 環境創造型農業の作付面積は引き続き増加している。
- 冬期湛水を行う水田が増えている。
- 集落営農が増えて、農業スクールの卒業生が豊岡で就農するなど、持続可能な農業の担い手が増えつつある。



# 目標像④

## あちこちの川や海辺で、子どもたちの楽しむ声がきこえてきます

### 【主な取組みの方向】

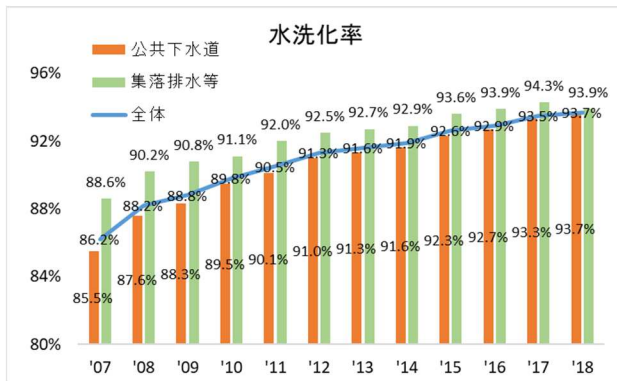
(2) (3) (5) (8) (9)  
(11)

### 【具体イメージ】

市民みんなの協力で川や海がきれいになりました／ポイ捨てをしないという意識が高まり水辺のごみが少なくなっています／水質が改善し、川にはたくさんの魚が泳いでいます／子どもたちが日常的に魚をとったり水辺で遊ぶ姿を見かけています

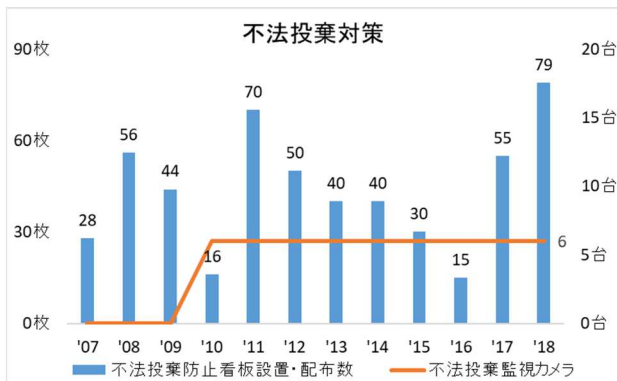
### 1 主な指標の変化(2007～2018年度)

#### (1) 川の水質保全



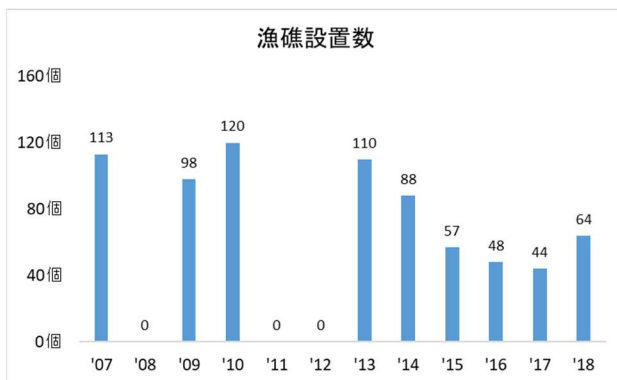
・河川の水質浄化につながる「水洗化率」は、95%を目標にしています。

#### (2) 不法投棄対策

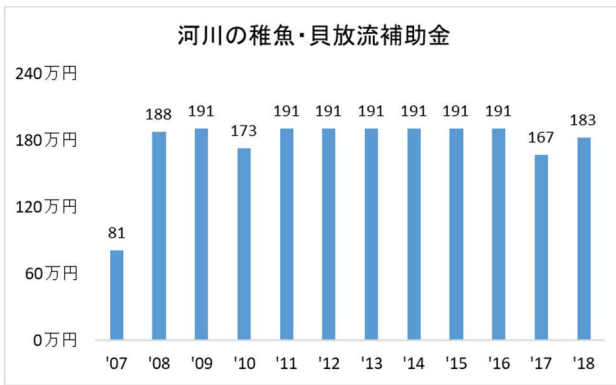


・不法投棄防止看板や監視カメラを河川敷や山などに設置しています。  
・家庭ごみから自転車まで、さまざまなごみが河川敷に捨てられています。

#### (3) 水産資源保全

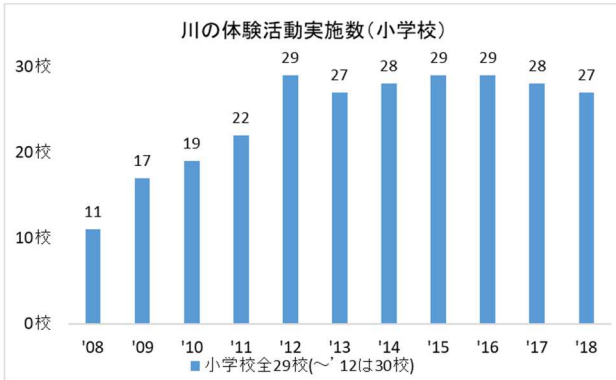


・漁礁は、魚類の繁殖と生活のために人為的に海中など水中に設置される、魚類のすみか(巣)や集まる場となるものです。



・円山川漁業協同組合(アユ、ハマグリ)と竹野川漁業協同組合(アユ、アマゴ)に補助をしています。

#### (4) 子どもたちの体験活動等



・2007年度に兵庫県下で「環境体験学習(小学校3年生対象)」が導入されたこともあり、授業で自然体験が取り入れられています。

#### (5) 清掃活動

川沿いや海水浴場のある浜などで、地域住民やボランティアなどによる清掃活動が行われています。

##### <主な活動>

##### 川清掃

清掃場所	活動主体	活動日
円山川河川敷	円山川菜の花の会	4月30日(月・祝)
円山川(ボート使用)	円山川城崎ボート協会	3月16日(土)

##### 浜清掃

清掃場所	活動主体	活動日/活動頻度
気比の浜・田結の浜	港中学校・港西小学校・港東小学校・港認定こども園	6月30日(土)
竹野海岸	竹野海岸ボランティアクラブ	毎月

上記の他に、但馬漁協津居山支所の婦人部による港清掃、田結・気比の高年クラブによる浜の草刈りなども行われています。

また、兵庫県建設業協会豊岡支部では、クリーン但馬10万人大作戦で出たごみ回収作業や円山川清掃活動が行われています。

## ボート日本代表合宿 &城崎中学校ボート部への指導

2018年4月9日から28日まで、円山川城崎漕艇場で、ボート競技日本代表選手の合宿が行われました。東京2020オリンピックでのメダル獲得に向けた強化合宿の一つとしての実施です。

円山川は、勾配が緩やかで川幅は広く、カーブを描き、トレーニング環境として高い評価を受けています。

19日には、選手たちが城崎中学校ボート部を訪問。エルゴメーター(※)で練習する部員の動きをチェックしながら、アドバイスをを行い、手本を見せて指導しました。



2019年3月23日開幕の「全国中学校選抜ボート大会」では、創部以来過去最多、4名もの選手が出場権を得るなど、練習の成果が発揮されました。

※ 水上での動きを陸上で再現し、漕手の漕力を測定するための器具

## 2 2018年度評価

### 評価

○川や海岸を清掃するボランティア活動が市内各所で継続的に行われている。

▲大雨の後、河川敷の葦や刈り草などが海に流れている。

▲不法投棄を減らすための対策を講じているが、状況は改善していない。

もっと  
がんばろう

## 目標像⑤

# コウノトリも住める豊かな生態系が、バランス良く保たれています

### 【主な取組みの方向】

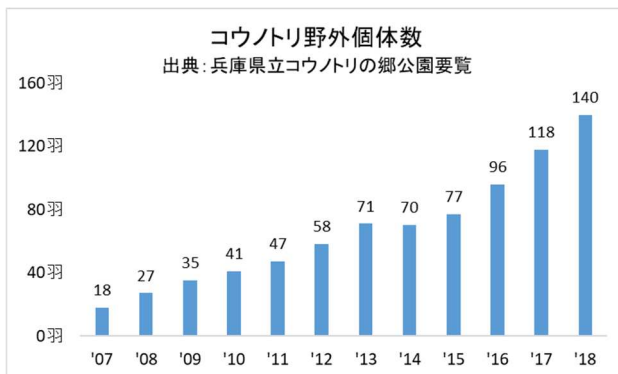
(1) (2) (3) (4) (5)  
(7) (8) (9) (10) (14)

### 【具体イメージ】

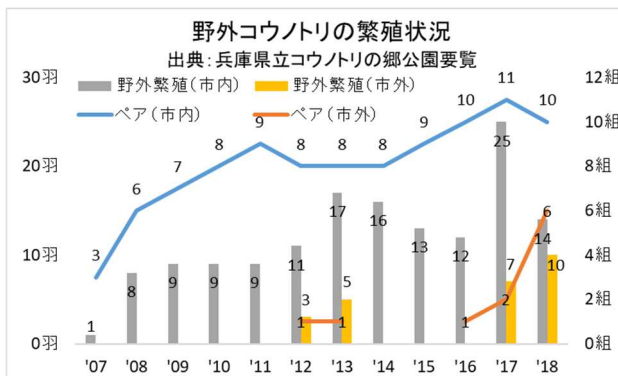
コウノトリ育む農法や市民に守られた湿地が市内全域に広がっています／コウノトリのエサになる生きものが増え、生態系のバランスが保たれています／コウノトリが市内各地に舞い降りています／コウノトリも住める豊かな環境づくりの取組みがさらに進んでいます

## 1 主な指標の変化(2007～2018年度)

### (1) 野外のコウノトリの状況

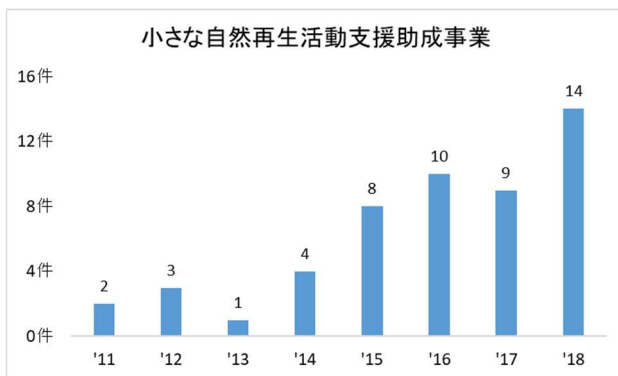


- ・2005年の試験放鳥から、野外のコウノトリの自然繁殖も進み、個体数は順調に増加しています。
- ・野生復帰したコウノトリは、市内だけでなく、全国各地を訪れています。2017年度に、47都道府県全てへの飛来が達成されました。



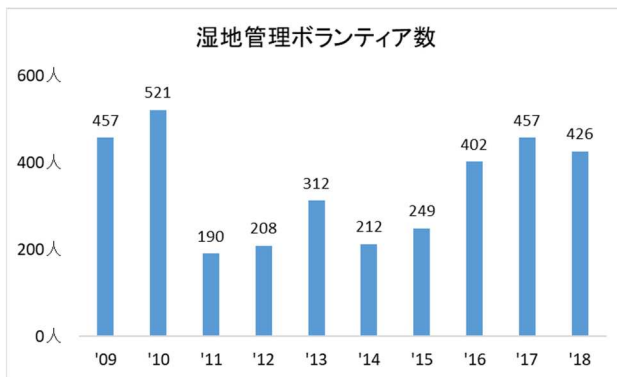
- ・2018年度の野外繁殖地(市外)は、京都府京丹後市、島根県雲南市、徳島県鳴門市です。

### (2) コウノトリが生息できる環境の整備



- ・小グループで身近な自然を再生する「小さな自然再生」活動(ビオトープづくり、外来雑草等の除去など)を支援しています。





・戸島、田結、加陽などの湿地では、市内外からのボランティアを受け入れ、保全・管理作業を進めています。



・豊岡河川国道事務所(国土交通省)は、円山川水系河川整備事業の一環として、湿地の整備を行っています。

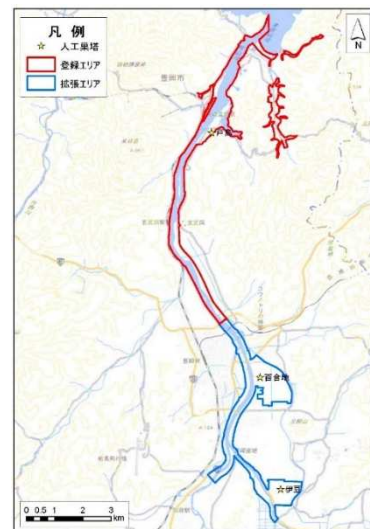
# Topics

## ラムサール条約湿地エリア拡張

2018年10月23日、アラブ首長国連邦・ドバイでラムサール条約第13回締約国会議(COP13)が開かれ、豊岡市のラムサール条約湿地「円山川下流域・周辺水田」のエリアが拡張されました。

ラムサール条約・正式名称「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」は、世界的に重要な湿地を評価し、保全するための国際条約です。

今回、百合地巣塔・出石町伊豆巣塔の周辺水田や加陽湿地、豊岡大橋から蓼川大橋までの円山川、円山川合流点から伊豆橋までの出石川、計534ヘクタールが新たに登録されました。拡張後の面積は1,094ヘクタールで、面積は“約2倍”になりました。



図：拡張後のラムサールエリア

## 2 2018年度評価

### 評価

- 野外に暮らすコウノトリの個体数が増加している。
- 円山川自然再生事業により、湿地の改良と造成が行われ、ボランティア等による湿地保全活動が継続されている。
- ▲外来種駆除が進んでいない。



## 目標像⑥

# 様々な世代の人々が、地域の祭りや行事を楽しみ、未来へとつなげていきます

### 【主な取組みの方向】

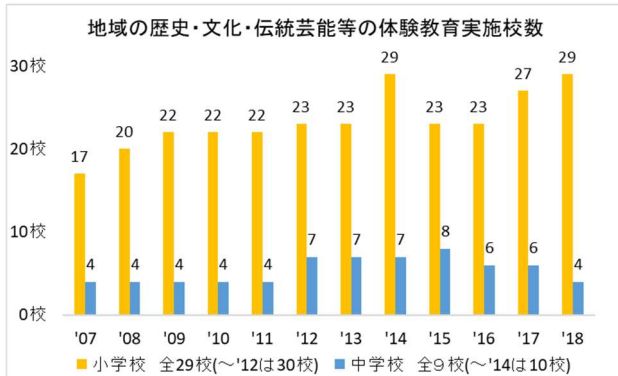
(7) (8) (9)

### 【具体イメージ】

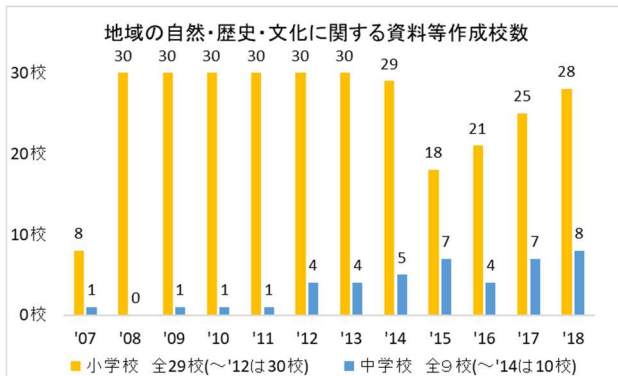
地域の祭りや伝統行事のことを、おじいちゃんやおばあちゃんが孫に語りかけています／子どもたちが地域の祭りに参加して楽しんでいます／地域の誰もが、地域の文化や歴史に関心を持ち、誇りに感じています

## 1 主な指標の変化(2007～2018年度)

### (1) 地域を学ぶ機会



・学校教育の中では、“地域を知る”という視点で意識して地域の「歴史・文化・伝統芸能」に体験教育に取り組んでいます。



### (2) 豊岡市の無形民俗文化財

《まちの祭礼》

地域	名称	寺・神社	主体
豊岡	柳まつり	柳の宮(小田井神社境内)	柳まつり実行委員会祭典部・豊岡おどり部

地域	名称	寺・神社	主体
	豊岡のだんじりパレード		豊岡小学校、同PTA、豊岡市市街地区長会、青少年健全育成豊岡会議
城崎	城崎温泉まつり	四所神社	四所神社氏子総代会、城崎温泉観光協会
	温泉寺開山忌	温泉寺	温泉寺奉賛会主催
	城崎のだんじり祭り	四所神社	四所神社氏子
出石	有子山稲荷神社の初午祭	有子山稲荷神社	弘道地区十六区(氏子)、商工会
	出石だんじり祭り	石部神社、諸杉神社、伊福部神社	出石だんじり祭り実行委員会
	諸杉神社の秋祭り	諸杉神社	諸杉神社氏子
	出石大名行列槍振り		出石大名行列保存会

出典：豊岡市の祭礼・年中行事等調査報告書(2016年度作成)

《民俗芸能》

地域	名称	寺・神社	主体
豊岡	法花寺万歳		法花寺万歳保存会
	雷神社の御田植祭	雷神社	雷神社氏子
	奈佐節(六条さん)		奈佐節保存会
	森尾の盆踊り		森尾盆踊り保存会
竹野	轟の古代太鼓踊り	蓮華寺(真言宗)	蓮華寺古代太鼓踊り保存会・僧侶
	轟・森神社の獅子舞と大神楽	森神社(旧式内社阿古谷神社)	轟太鼓神楽保存会
	森本の盆踊りと変装踊り		森本区長・森本盆踊り保存会
	田久日の盆踊り		田久日区民
日高	気多神社秋祭りの獅子舞		気多神社太神楽保存会
	鶴岡大祭と太神楽	井田神社	鶴岡大祭実行委員会
出石	箱根神社のお田植えさん	箱根神社	福居区
	大日神社の奉納獅子舞(廃絶)		百合区
	出石盆踊り		出石町盆踊り大会実行委員会
但東	大生部兵主神社の春祭りの練り込み太鼓と浦安の舞	大生部兵主神社	大生部兵主神社氏子ほか
	栗尾の練り込み太鼓	愛宕神社、清滝神社、日定神社	栗尾練り込み太鼓保存会
	新宮神社秋祭りと東中・小坂の練り込み太鼓	新宮神社	
	赤野の太刀振り	赤野神社	赤野太刀振り保存会
	如布神社の秋祭り・如布神楽	如布神社	地域内氏子

出典：豊岡市の祭礼・年中行事等調査報告書(2016年度作成)

《各地区の氏神・子祠・堂の祭祀と年中行事》

地域	名称	寺・神社	主体
豊岡	庚申堂の星祭り	庚申堂、京口会館	星祭祭典員会、京口区、京寿会、婦人会、壮和会
	兵主神社の千本杵餅つき	式内兵主神社	赤石区
	中嶋神社菓子祭	中嶋神社	中嶋神社、奉賛会、氏子
	絹巻神社の子供奉納相撲	絹巻神社	絹巻神社、港地区の各区、港こども育成会
	ゑびす大祭 宝恵駕籠行列	小田井神社境内ゑびす神社	小田井神社奉賛会
	女代神社の茅の輪くぐり	女代神社	女代神社氏子
	江月寺の祇園さん・数珠繰り	江月寺	長松寺(下鶴井)
	気比の精霊送り		気比区、気比育成会
	田結の地藏盆	六地藏堂	大師講の講員と仏教婦人会の有志
	長谷の万灯		長谷区万灯実行委員会
	中郷の秋祭り・ジジババオコシ	葦田神社	中郷区
城崎	楽々浦・鼻かけ地藏の祭り	地藏堂	鼻かけ地藏尊奉賛会
	来日の地藏盆		口組の戸主を中心に、子供会・老人会が参加
	久流比神社の秋祭り・ふみこし	久流比神社	久流比神社氏子
	青山神社の秋祭り・だんじり祭り	青山神社、天満社	青山神社氏子、天満社氏子
竹野	床瀬の狗留尊仏祭り		床瀬区
	松本・十二薬師堂の数珠繰り(百万遍念仏)	十二薬師堂	松本区
	芦谷の不動尊祭り(お不動さん)		芦谷区
	興長寺の目の薬師の縁日	興長寺	興長寺境内の薬師堂
	田久日の村施餓鬼		田久日区
	轟の寺施餓鬼	蓮華寺	轟・鬼神谷・駅前・林・恵日・東大谷・下塚の各区
	竹野の浜施餓鬼		但馬漁業協同組合竹野支所
	森本の地藏講(数珠繰り)	地藏堂	女性の有志
森本の地藏盆		森本区長、森本盆踊り保存会	
日高	宵田の十日恵比寿祭り	日枝神社末社 恵比寿神社	宵田区
	田ノ口の塞の神祭り	清滝神社	田ノ口区
	ばば焼き(御柱祭り)	十二所神社	松岡区
	山田の花まつり		山田区
	お薬師さんのご開帳・すり焼き	国分寺	国分寺
石龍神社の子供奉納相撲	石龍神社	久斗子供会、久斗相撲保存会	

地域	名称	寺・神社	主体
	浅倉の川濯祭り	兵主神社末社 水無月神社	浅倉区
	伊府の数珠繰り		老人会、子供会
	夏栗の弘法大師祭(二十日盆・盆踊り)	善福寺	夏栗区、子供会は共催
	上石の地藏祭り(水生地蔵)	清水場、岩盤の祠	上石区
	奈佐路の地藏祭		奈佐路区
	広井の万灯火祭り	権現山の火災不動、広井地区のお堂	広井区民(男性)
	山田の秋祭りとお日堂の法要	吉野神社、三柱神社、お日堂	山田区
	須谷神社の秋祭り	須谷神社	藤井区民
	西芝のだんじり祭り	須賀神社	西芝区
出石	幟回し	出石神社	宮内少年会
	袴狭の川下祭り	川下神社	袴狭区、白糸会
	伊豆の甚五郎万灯		伊豆区
	平田の地藏盆(廻り地藏)ほか		諏訪
	愛宕の火祭り	伊福部神社、愛宕神社	御神火会、愛宕火祭り奉賛会
	片間の万灯		片間地区隣保
	福見妙見堂の妙見さん		福見区
	鍛冶屋の八朔の大綱引き		鍛冶屋区文化部、子供会
	御出石神社・貴船神社の秋祭り	御出石神社、貴船神社	桐野区、寺坂区、中野区、日野辺区
但東	但馬天満宮の学業成就合格祈願祭	但馬天満宮	奥矢根区
	福寿稲荷の初午	稲荷社	坂野区
	赤花の鬼子母神祭	法華寺	法華寺
	栗尾の薬師祭り	松禪寺	薬師堂、栗尾ふるさと委員会ふるさと一三五
	久畑・愛宕神社の夏祭り	一宮神社、一願不動尊	久畑区(祭礼)、けやきの会
	虫生の万灯		虫生区の青年層
	日出神社の千本餅つき	日出神社	南尾区、出合区、日殿区、出合市場区

出典：豊岡市の祭礼・年中行事等調査報告書(2016年度作成)

### (3) 地域コミュニティ

2017年度から、地区公民館が全て地区コミュニティセンターに変わりました。それに伴い、旧地区公民館区域を単位とした新しい地域コミュニティが、自ら「地域づくり」や「課題解決」を行います。地域コミュニティづくりは、若者から高齢者まで、男性も女性も、多様な住民が参画しながら地域の未来を見据えて住民自治を進める取組みです。

<各地区コミュニティと主な交流行事>

地域	地区	コミュニティ名	交流行事の一例
豊岡	豊岡	とよおかコミュニティ 31	見て歩き&バーベQ大会
	八条	八条コミュニティ	“出張”八条サロン
	三江	三江コミュニティ	三江地区文化祭
	田鶴野	コミュニティたづるの	ふるさと探訪歩こう会
	五荘	コミュニティ五荘	こどもクリスマス茶会
	新田	コミュニティ新田	みひらき健康マラソン大会
	中筋	コミュニティなかすじ	なかすじ文化まつり
	奈佐	奈佐地区コミュニティ なぎさの会	なぎさカフェ
	港	コミュニティみなと未来	港西大運動会
	神美	神美コミュニティ	新春囲碁大会
城崎	城崎	コミュニティ城崎	朝市一周年記念イベント
竹野	竹野南	竹野南地区コミュニティ わいわいみ・な・み	そば作り
	中竹野	中竹野地区コミュニティ	ふれあい居酒屋
	竹野	コミュニティたけの	鋳物師戻り峠の山歩き
日高	国府	コミュニティこくふ	ふれあいグラウンド・ゴルフ大会
	八代	八代おもいやりネット	八代川の生き物調査
	日高	日高地区コミュニティ 「きらめき日高」	地域探検「お地蔵さんめぐり」
	三方	コミュニティ三方	綱引き大会
	清滝	桜・清流の郷 きよたき	清滝地区文化祭
	西気	西気明日のいしずえ会	西気ふれあいカフェ
出石	弘道	弘道コミュニティ協議会	すまいるカフェ
	菅谷	はにの里菅谷協議会	ふれあい広場
	福住	福住ふれあい協議会	おひな様まつり
	寺坂	床尾の里てらさか	コミュニティ祭り
	小坂	夢コミュニティ小坂	まち歩き・まち探検
	小野	小野コミュニティ	小野フェスタ(芋煮会)
但東	資母	資母まちづくり協議会	宝まつり
	合橋	コミュニティあいはし	5感の MOVE 夏 FESTIVAL ! 2018
	高橋	高橋振興対策協議会	高橋ふれあい市

※交流行事の一例は、「平成 30 年度地域コミュニティ組織活動事例集」から抜粋

## 伝統・民族芸能紹介 轟の太鼓踊り(県指定無形民俗文化財)

轟の太鼓踊りは、室町時代末期には成立していたとされています。盆の時期に、施餓鬼供養として蓮華寺に奉納されます。

白装束が基本で、踊りは太鼓をたたきながら行われます。前後左右など時々体の向きを変えながら、足を前後に運ぶ静かな踊りです。

但馬5地域に伝わる「ざんざか・ざんざこ踊り」と同じ系統ですが、仏事として行われるという非常に珍しい特徴をもっています。



提供：豊岡市教育委員会

平成4年、檀家の協力を得て「蓮華寺古代太鼓踊保存会」を発足。30年以上の中断期間がありながら、見事復活を果たし、現在に至っています。

## 2 2018年度評価

### 評価

- 各地域コミュニティで特色のある活動が行われている。
- 地域の自然・歴史・文化に関する資料等を作成し、地域を学ぶ子どもたちが増えてきている。
- ▲高齢化、少子化の進行により、伝統行事の継続が難しくなっている。

この調子で  
がんばろう

## 目標像⑦

# 子どもたちが、身近な地域の自然についてよく知り、大切にしています

### 【主な取組みの方向】

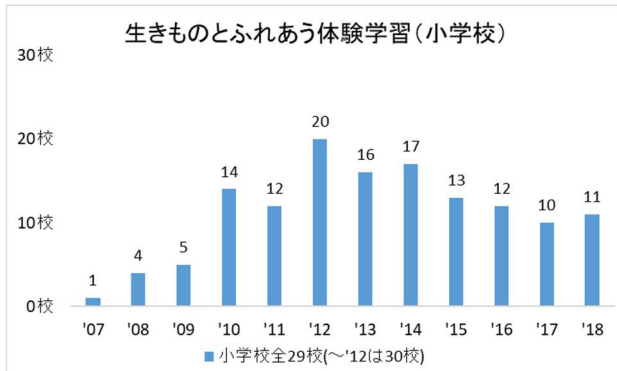
(1) (2) (3) (4) (5)  
(8) (9) (10) (14)

### 【具体イメージ】

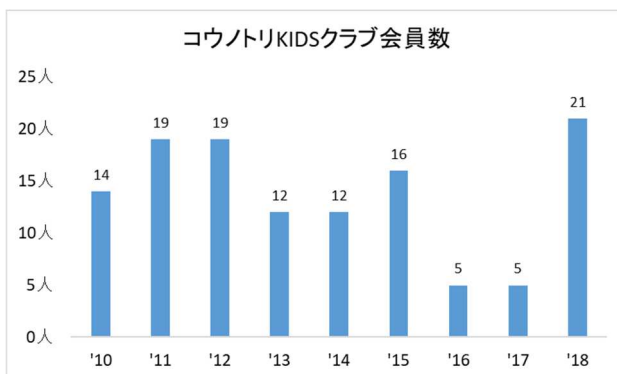
地域の環境をよくする取組みが広がり、自然が豊かになっています／自然のことをたくさん学んだ子どもたちがよく外遊びをしています／子どもたちを地域の人が見守っています

## 1 主な指標の変化(2007～2018年度)

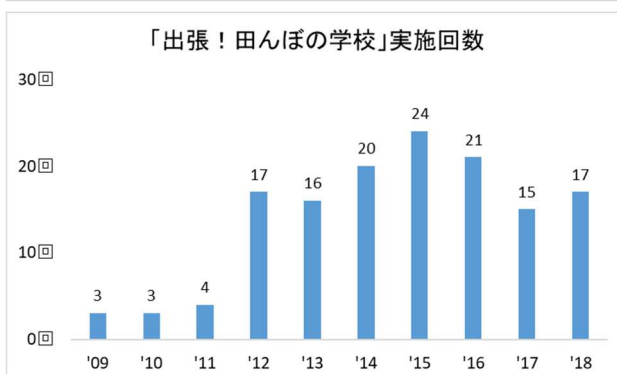
### (1) 自然を学ぶ機会



- ・小学校の生きもの調査のなかで、市が指導を担当した数です。独自に実施している学校もあります。

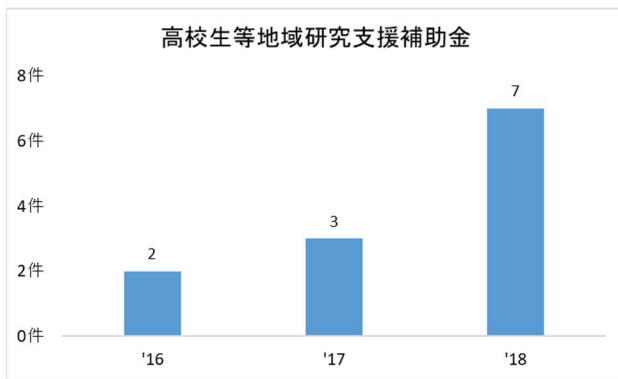


- ・コウノトリ KIDS クラブは、コウノトリとその生息を支える自然を深く学ぶ、市主催のクラブ活動です。
- ・対象：市内小学校4～6年生



- ・「出張！田んぼの学校」では、NPO 法人コウノトリ市民研究所のスタッフが、各地域の主催で行われる生きもの調査に講師として出向きます。

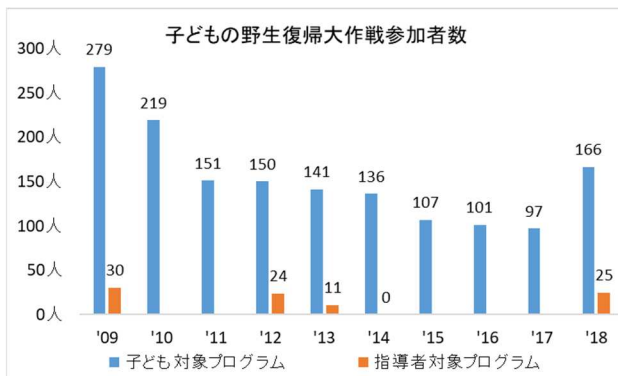




・高等学校・高等専修学校の生徒が行うふるさと豊岡の誇りであるコウノトリ等に関連する研究や調査、活動等を支援しています。ふるさとの知見を深め、将来に渡って豊岡とつながりを持ち、取組みに参加する若者を増やすことが目的です。

《2018年度の研究》

申請者	研究タイトル
近畿大学附属豊岡高等学校 こうのとり同好会	探究活動「コウノトリ生息地保全活動・調査研究・普及啓発」
クラーク記念国際高等学校 豊岡キャンパス	特別活動「豊岡のコウノトリについて学ぼう」
兵庫県立豊岡総合高等学校 インターアクトクラブ	高校生の湿地などでの環境保全・調査観察活動
兵庫県立出石特別支援学校	高等部コウノトリはばたけ学習
兵庫県立豊岡総合高等学校	コウノトリ共生-人と自然の共生-
兵庫県立出石高等学校	文理探究Ⅰ 自然分野の探求 ～コウノトリとふるさと豊岡の自然環境を学ぶ～
大岡学園高等専修学校	戸牧川生態系に及ぼす河川の実態調査



・子ども対象プログラムは、2017年度までは「子どもコース」と「家族コース」の合計、2018年度からは「周年型プログラム」と「単発型プログラム」の合計です。

・子ども対象プログラムでは、市内各地域での活動を通じて、豊岡の自然を体験します。

## (2) 学べる地域環境

市内全小学校区を目標に、一定規模のビオトープ水田の設置を進めています。環境学習フィールドとしても活用しています。

《市内各小学校区のビオトープ水田面積》

(単位：a)

地域	小学校	面積	地域	小学校	面積	地域	小学校	面積	地域	小学校	面積
豊岡	豊岡	0.0	豊岡	港東	5.2	日高	府中	31.2	出石	弘道	0.0
	八条	111.0		港西	0.0		八代	0.0		福住	0.0
	田鶴野	47.7		神美	187.8		日高	18.1		寺坂	0.0
	三江	66.5	城崎	0.0	静修		0.0	小坂		0.0	
	五荘	222.4	竹野	竹野	20.2		三方	36.4	小野	56.1	
	新田	0.0		中竹野	0.0		清滝	19.1	合橋	231.8	
	中筋	14.7		竹野南	0.0	但東	高橋	0.0			
	奈佐	48.3					資母	22.0			

※合計面積の推移は p. 15 に掲載

## コウノトリ KIDS クラブ×大学院生

# Topics

2018年12月にコウノトリ KIDS クラブ特別活動として、「コウノトリ KIDS クラブ×大学院生」のコラボ授業を実施しました。

兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科・エコ研究部門の学生が、コウノトリやカエルなどそれぞれの研究内容を説明。クイズやゲームを交えての講義や、班ごとに分かれてのワークショップなど、授業の内容や方法は、全て講師を務めた学生が考えました。

終わった後も大学院生に熱心に質問をするなど、子どもたちの興味は尽きず、とてもいい経験となりました。



## 2 2018年度評価

### 評価

- コウノトリ KIDS クラブの会員が増加している。
- 自然環境保全に取り組む高校が増加している。
- 各地で子どもの自然体験活動が浸透している。
- 兵庫県立大学大学院と連携した市の取組みが広がっている。

よく  
がんばり  
ました

# 目標像⑧

## 市民みんなが、ごみの減量化を実践し、1人あたりの排出量が徐々に減っています

### 【主な取組みの方向】

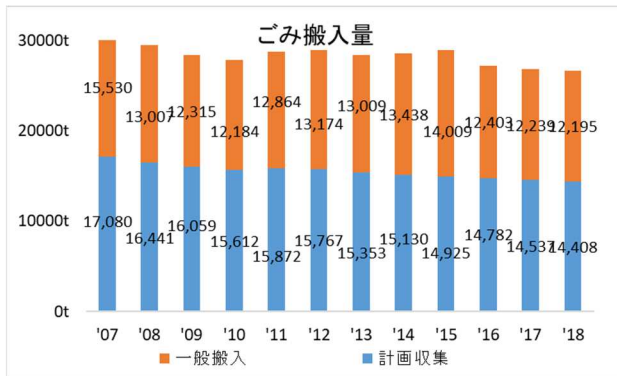
(2) (6) (9) (11) (12)

### 【具体イメージ】

資源ごみ回収ステーションが増えています／みんなが無駄遣いを減らし、分別を徹底することでごみの量が減少しています／生ごみは堆肥などに、廃食用油は燃料として利用され、資源やエネルギーの地域内循環が進んでいます／事業者は、ゼロエミッションの取組みを進めています

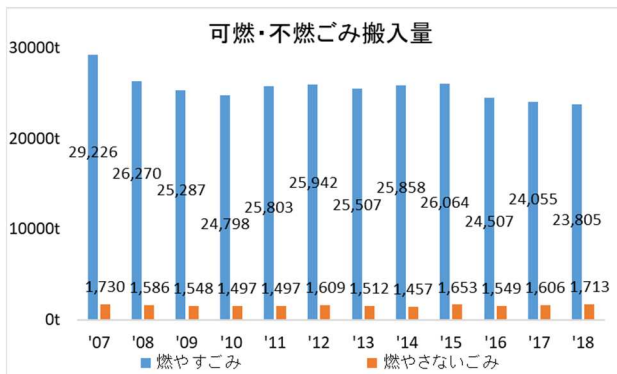
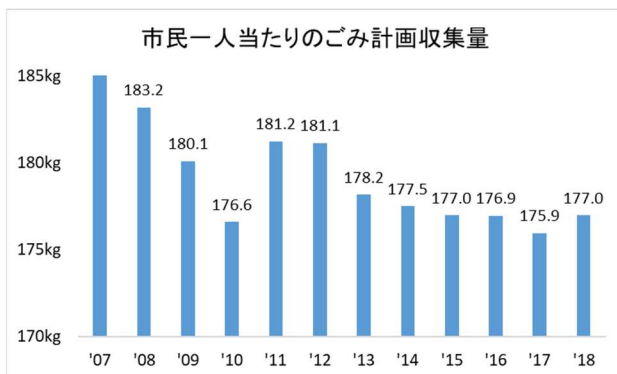
### 1 主な指標の変化(2007～2018年度)

#### (1) ごみの量

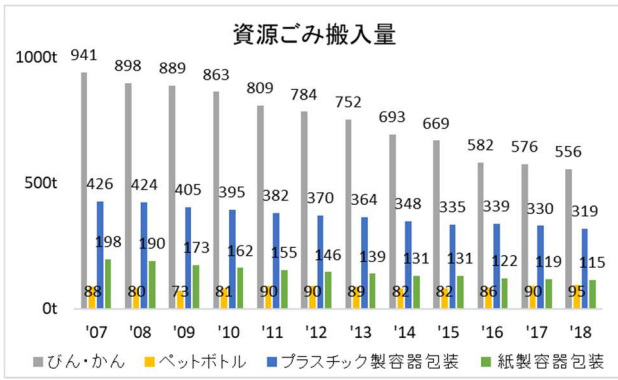


《豊岡市人口(各年度末値)》

年度	人口
2007	90,443人
2008	89,762人
2009	89,169人
2010	88,407人
2011	87,585人
2012	87,040人
2013	86,173人
2014	85,244人
2015	84,337人
2016	83,544人
2017	82,624人
2018	81,416人

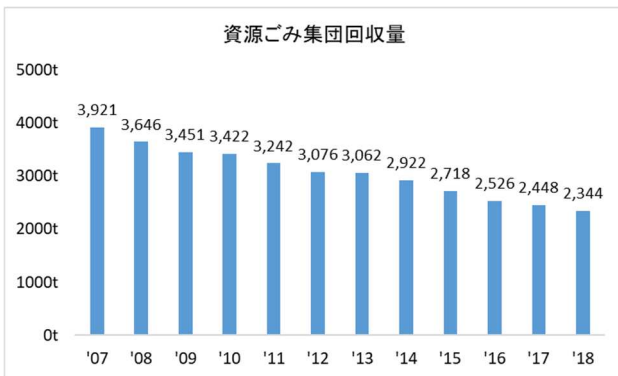


- ・ごみの分類ごとの搬入量は、計画収集と一般搬入を合わせたものです。
- ・2016年4月から一部のごみの分別区分が下記の通り変わりました。
  - ①燃やすごみで指定袋に入らないものは粗大ごみ
  - ②燃やさないごみは、燃やさないごみ・蛍光灯・乾電池類・粗大ごみの4分類
  - ③1辺20cm以上の缶は燃やさないごみ
  - ④プラスチック製品(プラ製容器包装を除く)は、硬さに関わらず全て燃やすごみ



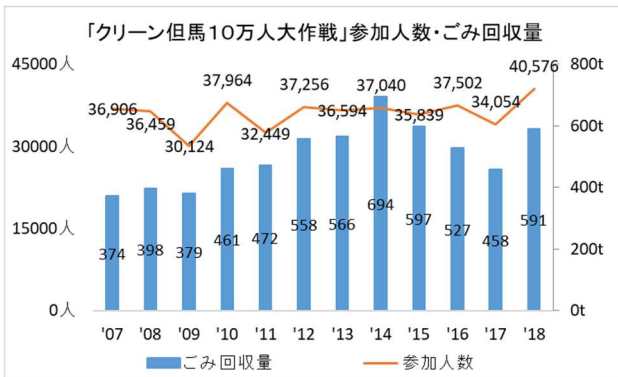
## (2) 資源ごみの回収

ほぼ全ての小・中学校で、資源ごみ回収(廃品回収)やリサイクル活動が行われています。

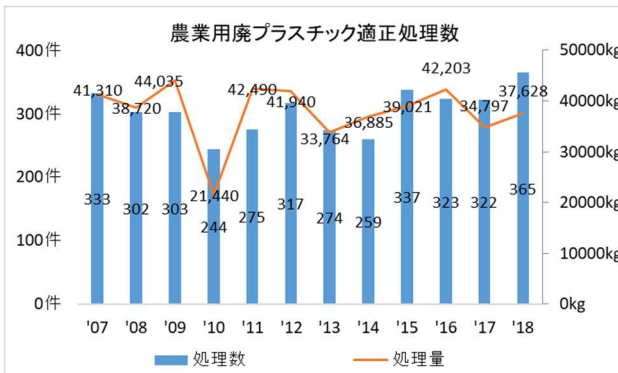


- ・豊岡市の住民で構成される自治会、子供会、婦人会、老人会、PTA等の営利を目的としない団体を対象に、資源ごみ集団回収事業補助金を交付しています。
- ・集団回収以外にも、スーパーマーケット等の施設でも、資源ごみが回収されています。

## (3) ごみ回収の取組み



- ・1990年から、毎年6月の第一日曜日を実施基準日として定め、住民が参加する清掃・美化活動「クリーン但馬10万人大毎年作戦」を実施しています。
- ・地域住民がよりいっそうクリーンなまちづくりについて意識を高め、但馬を美しく住み心地の良い地域とすることを目指します。



- ・ビニールハウス等の農業用廃プラスチックは、年に一度持ち寄って集団処理が行われています。
- ・最終処分を担っている業者では、資源化(サーマルリサイクル、マテリアルリサイクル)処分しています。



#### 【サーマルリサイクル】

焼却の際に発生する熱エネルギーを回収・利用

#### 【マテリアルリサイクル】

原料として再生利用

## 市内のペットボトルやプラスチック製容器包装の処理方法、行方

市民の皆さんが分別したペットボトル(  )やプラスチック製容器包装(  )は、クリーンパーク北但(竹野町坊岡)で選別して次の再生工場へ出荷し、大切な資源として国内で再利用しています。

「ペットボトル」と「プラスチック製容器包装」は、公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会から指定を受けた再商品化事業者それぞれに出荷しています。2素材を出荷する両工場ともに、地球温暖化が大きな社会問題となっている中で、環境への負荷が少ないマテリアルリサイクル(製品の原料として再利用)を展開しています。

ペットボトルは、再生工場ですらにキャップやラベル等の異物を取り除き、品質を向上させ、粉砕機によって細かく切断してフレーク状(再溶解用に細かく粉砕した約8mm四方の薄片状)にします。フレークは、国内の多種多様な業界で利用されており、カーペットや卵パック、作業服(繊維)、結束バンド等の原料に用いられます。

また、プラスチック製容器包装についても、さらに選別して品質を向上させ、造粒機で溶解し、ペレット状(3~5mm程度の粒子状)にします。ペレットは、日本国内のプラスチック加工会社に出荷され、フェンス(擬木)や輸送物流のパレット、車止め等の原料に用いられるほか、出荷先の工場によっては、燃料の一部として再利用されます。

## 2 2018年度評価

### 評価

- クリーン但馬 10万人大作戦の参加人数が増加している。
- 市内にいつでも出せる古紙回収ボックスが浸透している。
- ▲家庭から排出される一人当たりのごみ量が微増している。



## 目標像⑨

# 市民みんなが、楽しみながら省エネ行動を 実践し、再生可能エネルギーの利用も増えて います

### 【主な取組みの方向】

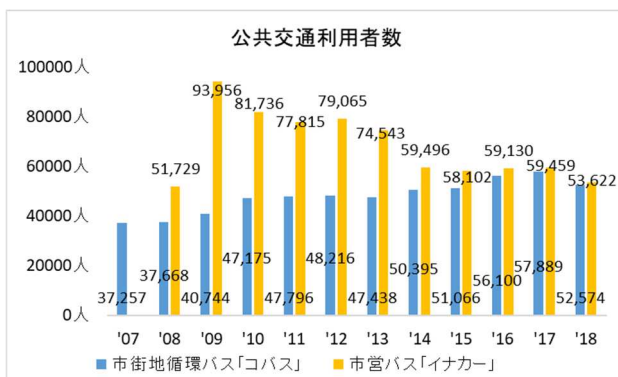
(6) (9) (12)

### 【具体イメージ】

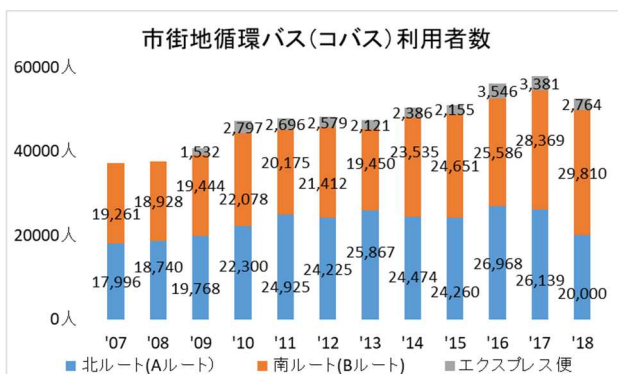
地球温暖化防止の意識が高まり、化石燃料の使用を減らす行動が広がっています／大人も子どもも省エネルギー行動が当たり前になっています／太陽光発電パネルの設置や電気自動車の導入、エコドライブの実践が進んでいます

## 1 主な指標の変化(2007～2018年度)

### (1) 公共交通の利用



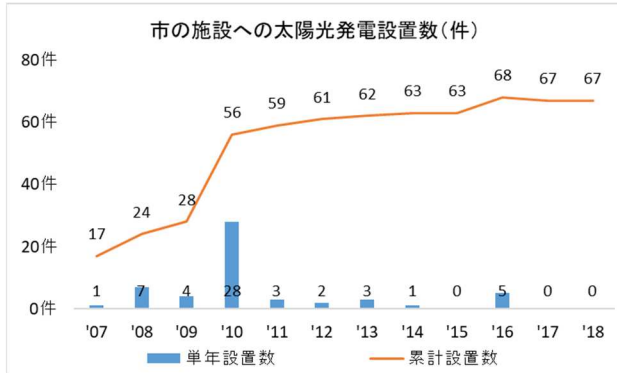
- 公共交通機関を利用することで、各乗用車での化石燃料使用が減り、一人当たりのCO<sub>2</sub>排出量も減らすことができます。



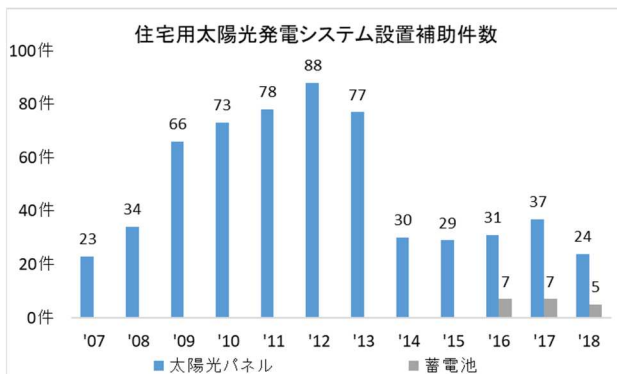
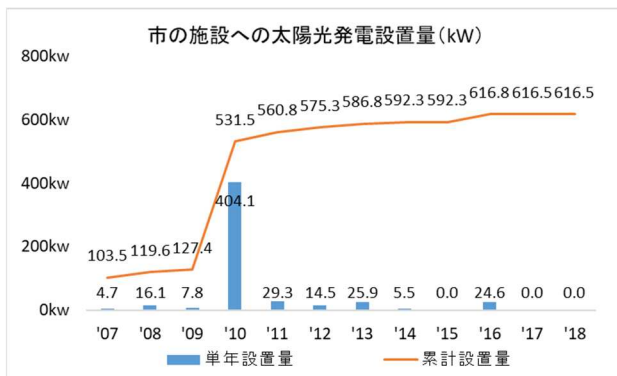
- 2018年度、コバスの走行ルートが、Aルート・Bルートから北ルート・南ルートに変更されました。
- ルート変更に伴い、5カ所のバス停を休止し、3カ所のバス停を新設。各ルートの乗継停留所を豊岡駅とアイティ前に集約しました。

## (2) 太陽光発電

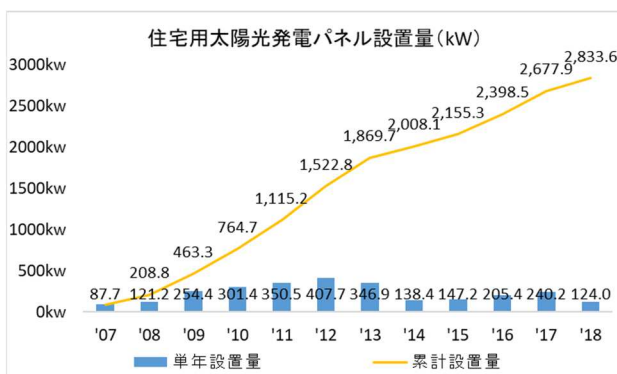
太陽光発電は、発電時に化石燃料を使用せず、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)も発生しないため、環境への負担が少ない電力です。



- 市の施設への設置は、1999 年度から行われています。
- 2013 年度、介護施設 2 件を民間譲渡
- 2017 年度、破損により 1 件撤去

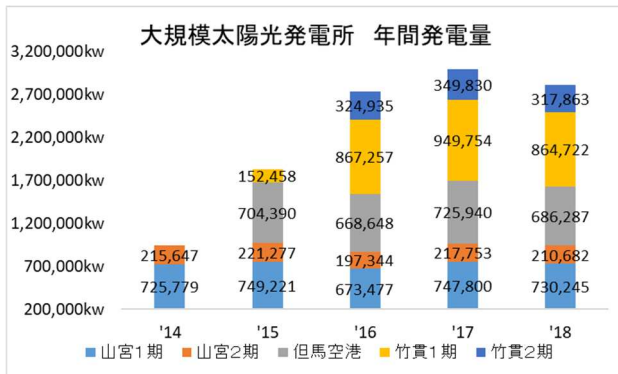


- 2016 年度から、蓄電池も補助対象となりました。
- 太陽光パネルと一緒に蓄電池をつける場合も後から蓄電池だけをつける場合も対象です。

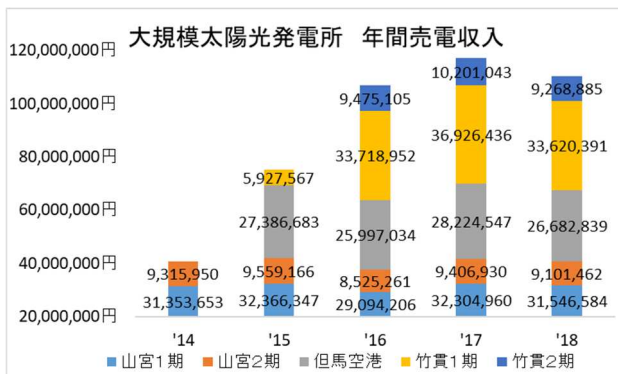


《豊岡市所有大規模太陽光発電所》

施設名	稼働開始	最大出力	売電単価(税抜き)
豊岡エコバレー山宮地場ソーラー第1期	2012年度	681.0kw	40円
豊岡エコバレー山宮地場ソーラー第2期	2013年度	318.8kw	40円
コウノトリ但馬空港地場ソーラー	2013年度	677.6kw	36円
豊岡エコバレー竹貫地場ソーラー第1期	2015年度	823.2kw	36円
豊岡エコバレー竹貫地場ソーラー第2期	2015年度	299.9kw	27円



・各大規模発電所は、20年間運営します。



・大規模発電所で発電した電力の売電収入は、設備の維持・管理費の他に、住宅用太陽光発電システム導入補助、木質バイオマス利用機器設置補助の費用に充てています。



## 江野のピコ水力発電

江野区で、古い水車小屋を利用したピコ水力発電が 2018 年 3 月に完成しました。

但馬県民局が委嘱する「但馬夢テーブル委員会」のグループの一つ「但馬いかそうかい」第 8 期メンバーが水力発電システムを手作りで制作。約 50 年前まで粉ひきに使われていた水車小屋に注目し、試行錯誤を繰り返し 6 年がかりで完成させました。

約 1.5m の落差がある水流を利用し、プラスチック製の水車を回転させることで、24 時間発電。最大 38W になる発電した電気は庭木のデコレーションライトや獣害防止の電気柵などの電源として使用しています。

発電量は小規模ですが、将来、電力の地産地消に向け大きな一歩になりました。



## 2 2018 年度評価

### 評価

- 住宅用太陽光発電設備の設置が広がっている。
- メガソーラーによる発電が順調である。
- ▲コバス利用者が減少している。

この調子で  
がんばろう

# 目標像⑩

## 環境を良くすることで経済が活性化され、交流も広がっています

### 【主な取組みの方向】

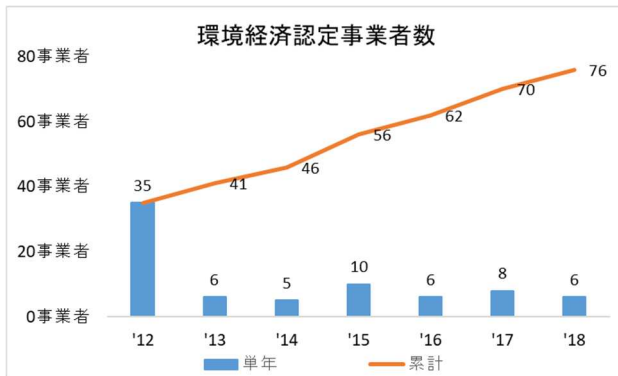
(6) (9) (12)

### 【具体イメージ】

「環境と経済の共鳴」の環境経済戦略がさらに進み、豊岡の知名度が上がっています／人・もの・情報が広域的に行き交う取組みが進んでいます／新たに受け入れた産業や企業、知や技の交流を通じて、豊岡の町が元気になっています

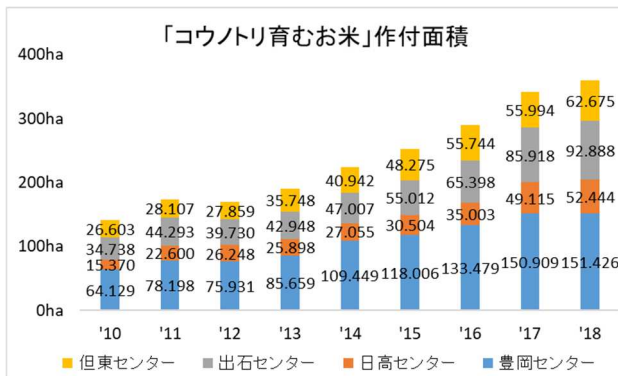
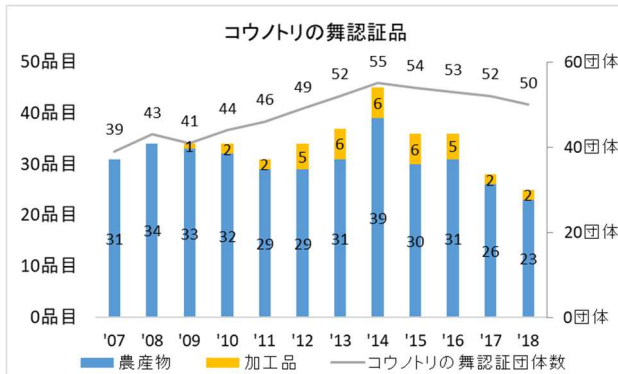
### 1 主な指標の変化(2007~2018年度)

#### (1) 環境経済認定事業

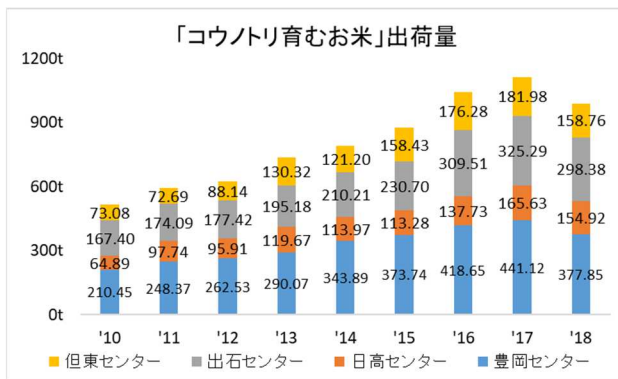


・市内の企業で、利益を追求する事業で環境が改善されるものを「環境経済事業認定」しています。

#### (2) 豊岡ブランド



・JA たじま営農生活センターごとのデータです。

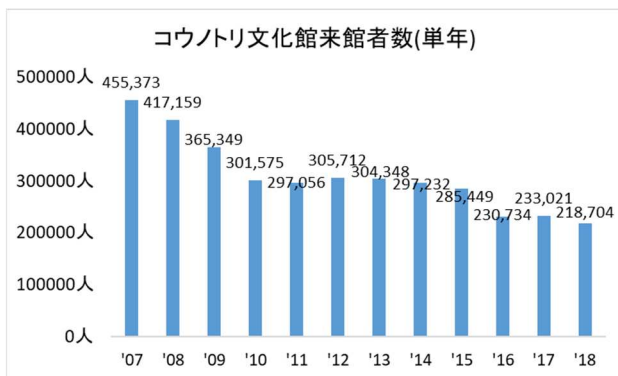


・コウノトリ育むお米は海外でも販売されています。

《コウノトリ育むお米の海外への輸出状況》

年度	輸出国	輸出量
2016	2カ国 (アメリカ、シンガポール)	1.5t
2017	3カ国 (アメリカ、シンガポール、香港)	7.8t
2018	5カ国 (アメリカ、シンガポール、香港、オーストラリア、アラブ首長国連邦)	17.2t

(3) 人・もの・情報の交流



- ・2006年 100万人達成
- ・2008年 200万人達成
- ・2011年 300万人達成
- ・2014年 400万人達成
- ・2018年 500万人達成

<CSR活動による地域活性>

企業が環境保全活動の際に、宿泊や観光も行うことで、地域の活性化につながります。

・KDDI株式会社

2016年にKDDI株式会社と豊岡市による地域活性化を目的とした包括協定の締結をきっかけとして、CSR活動が展開されています。

【CSR活動】

Corporate Social Responsibility(企業の社会的責任)の略語。企業が社会の一員として社会に与える影響について責任を持ち、社会の持続的発展に貢献するために実践される活動を指す。日本では、利潤を社会に還元したり地域の一員として貢献するのがCSRであるといった考え方の企業が多く、事業分野と関連のある本業とは別の社会貢献活動(寄付、ボランティア活動、地域貢献など)を行う企業が多い。

中筋地区の住民が立ち上げた「未来の種株式会社」が、学校給食への野菜供給などを目的に雪室を整備しました。

雪室は、雪を入れたコンテナ3棟と野菜保存用のコンテナ2棟が交互に配置され、野菜を冷やして貯蔵します。雪室に入れる雪は、神鍋の雪を使用しています。

2017年5月から、雪室で貯蔵されたジャガイモやタマネギが学校給食で使われています。

出石では、2018年のゴールデンウィーク明けから期間限定で、雪室で3カ月貯蔵されたそばを使った「雪室そば」を提供しているお店があります。雪室で貯蔵されたそばは、香りや甘味が増します。



## 2 2018年度評価

### 評価

- コウノトリ育むお米の輸出国が増加している。
- CSR活動の受け入れによる交流人口が増えた。
- ▲コウノトリ文化館の来館者数が減少している。

この調子で  
がんばろう